

## 令和4年度 第1回佐賀大学医学部附属病院医療安全監査委員会 報告書

医療法施行規則第15条の4第2号に基づき、監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

### 1. 監査の方法

国立大学法人佐賀大学医学部附属病院医療安全監査委員会規程に基づき、佐賀大学医学部附属病院における医療安全に係る業務の状況に関して、令和3年度第2回医療安全監査委員会以降、開催された医療安全管理委員会議事要旨、高難度新規医療技術評価委員会議事要旨を、事前に委員へ送付・閲覧し、また未承認新規医薬品導入評価委員会資料・議事概要は当日提示していただき、委員はWEB参加により、吉村医療安全管理室副室長をはじめ、関係者より資料に基づき説明を受け、適宜、委員から質問を行いながら、監査を実施しました。

- ・日時：令和4年9月6日（火曜日）14：00～14：50
- ・場所：WEB会議、佐賀大学医学部附属病院大会議室
- ・委員長：内門泰斗（鹿児島大学病院医療安全管理部・副部長）WEB参加
- ・委員：前川律子（公益社団法人佐賀県看護協会・常務理事）WEB参加

### 2. 監査の内容及び結果

#### (1) 医療安全に係る委員会等の議事要旨の確認について

医療安全管理委員会議事要旨から、高濃度カリウム注射薬の院内統一のルールの整備や患者確認のリストバンドの活用見直し、またGood Job賞を継続して行っているとの説明を受けました。次に未承認新規医薬品導入評価委員会の議事概要から、アレルギーが疑われる薬剤の禁忌使用を想定した審議が行われたこと、高濃度カリウム注射薬の適応外使用の審議について詳細に説明を受けました。次に高難度新規医療技術評価委員会議事要旨から審議体制、今年度の審議件数、実施後の報告を実施報告・定期報告・問題発生時度の報告という形に整理したことの説明がありました。

説明を受けた後に、各委員より、病理解剖報告書の説明実施状況、Good Job賞の現場への効果、インシデント・アクシデント速報システム報告、患者確認の取り組み、RRS（ラピッドレスポンスシステム）とCCOT（Critical Care Outreach Team）の活動状況と課題、医療安全に資するモニタリングについて、質問や確認があり、適切な対応と再発防止策の立案がなされ、実際の取り組み状況も確認し

ました。

## (2) その他

今回も、WEBによる開催形式のため、提供していただいた資料の確認と質問に対する説明以外の確認は行いませんでした。

## 3. 総括

佐賀大学医学部附属病院の医療安全に係る業務について、令和4年度 第1回医療安全監査委員会を開催いたしました。前年度に引き続き、今回も新型コロナウイルス感染症の対策を考慮しWEBでの監査を行いましたが、事前に資料を提供していただき、内容を確認した上で、委員会に臨むことができ、滞りなく監査を行うことができました。

新型コロナウイルス感染対策に取り組みつつ、医療安全に係る委員会も定期的に開催され、発生した事象に応じた適切な対応と再発防止策の立案がなされていました。さらに0-1レベルの報告しやすい環境づくりや、Good Job賞の取り組みが、医療安全文化の醸成に貢献していること、RRTやCCOTの活動が実を結びつつあることなど確認でき、適正な医療安全に関する管理が行われていると判断しました。

大学病院として、新型コロナウイルス感染症の対策も取り組まなければならない苦労は多いと思いますが、医療安全の充実と改善へ、今後とも取り組んでいただきたいと思います。

令和4年9月6日

国立大学法人佐賀大学医学部附属病院医療安全監査委員会

委員長 内門 泰斗

委員 前川 律子